

住みやすい「北仙道」にするには？

～地区の現状と準備会議の取組～

北仙道地区

1. 地区の現状

当地区は、市中心部より5～10km圏内に位置し、人口508人、世帯数202世帯、高齢化率45.3%（平成27年5月末日現在）の中山間地域で、過疎化・少子高齢化・耕作放棄地の増加・空き家の増加・不法投棄等、全国の多くの中山間地域が抱えている課題を当地区も共有しています。

右グラフが予見するように、このまま何もしないで手をこまねていると、30年後には人口3分の1、高齢化率1.5倍の現実が待ち受けています。



2. 北仙道地区地域自治組織設立準備会議の設立

平成25年度から本格的に始まった益田市の「人口拡大計画」に基づき、当地区では昨年7月に北仙道地区地域自治組織設立準備会議（以下「準備会議」という）を設立し、地域魅力化プロジェクト事業の両輪である「地域自治組織設立準備事業」（以下「設立事業」という）と「地域魅力化事業」（以下「魅力化事業」という）に取り組んでいます。

本年度は、新体制によりスタートし、5月に第1回目の会議を開催して以降は、毎月第3水曜日に会合を持ち、活発な議論が行われています。



昨年(8月16日)のキャンドルライトの様子
(赤雁の里より天道山を望む)



第2回会合(6月17日)の様子

3. 今後の取組

本年度の活動の目玉は、設立事業では学識経験者を招いての講演会・戸別アンケート・先進地視察調査の実施を予定しています。魅力化事業ではキャンドルライト in あかがり&かかしコンテストへの支援、子供地元学 in 北仙道の実施、GIS（地理情報システム）を活用した北仙道地区基礎カルテ作成事業（第2期）に取り組めます。特にGISを活用した事業については、地域の実態を把握し、情報を可視化していきます。

また、8月に子供地元学 in 北仙道を取組む予定ですが、昨年度の地元学では、「大人の視点」で地区の掘り起こしを行いました。今年度は「子どもの視点」で地区の魅力を掘り起こしてもらいたいと考えています。

併せて、当地区では、島根県中山間地域研究センターが実施する「学生インターンシップ事業」に採択されました。この事業により、8月から9月の1カ月間、山形大学の学生が来益する事が決定し、「他所からの視点」で当地区の魅力を掘り起こしてもらおうと同時に、子どもたちとの活動やGISを活用した「お宝マップ」の作成等を実施する予定です。

本年度は色々と研修や体験活動を地区の方々に取組んでいただき、話し合いの場を出来るだけ多く作り、住みやすい「北仙道」づくりについて議論を深め、北仙道らしい地域自治組織を見つけたいと考えています。